

## 小松市教育委員会会議録

会議名	平成29年 第2回小松市教育委員会定例会					
開会月日	平成29年2月9日(木)	場所	教育長室			
会議時間	(開会)午後 1時30分 ~ (閉会)午後 2 時40分					
休憩時間	①(休憩)午前・午後 時 分 ~ (再会)午前・午後 時 分 ②(休憩)午前・午後 時 分 ~ (再会)午前・午後 時 分					
委員 の 出席	教育長	石黒 和彦	出席	委員	北村 嘉章	出席
	委員	野田 美和子	出席	委員	蘆邊 千鶴子	出席
	委員	吉原 慎吾	出席	出席委員 4名、欠席委員 0名		
出席 説明 員	教育次長 山本 裕		出席	未来の教育課長兼教育研究センター 所長 廣田 恵子		出席
	図書館長 山崎 みどり		出席	教育庶務課長 吉田 均		出席
	学校教育課長 波佐尾 雅人		出席	青少年育成課長 東谷 勝美		出席
	ひとつものづくり科学館 副館長 浅野 幸恵		出席	学校教育課担当課長 松村 清子		出席
	教育庶務課参事 池田 美和子		出席			出席
			出席			出席
書記						
傍聴者	0 名					
会 議 に 付 し た 議 題	【議案】					
	非 議案第2号 平成28年度 勝木賞表彰者について (学校教育課)					
	非 議案第3号 平成29年度 小松市奨学金支給奨学生について(学校教育課)					
	【報告事項】					
	・ふれあい教室通級状況について(未来の教育課)					
	・教育相談について(未来の教育課)					
	・図書館行事等について(図書館)					
	・広域通学モデル事業の実施について(学校教育課)					
	・平成28年度 森山啓ジュニア文芸賞について(学校教育課)					
	・平成29年度推薦入学出願状況について(市立高校)					
・サイエンスヒルズこまつ3周年企画について(ひとつものづくり科学館)						
・平成29年度当初予算について(教育次長)						

# 教 育 委 員 会 報 告

<b>【議案】</b>	
議案第2号 平成 29 年度 勝木賞表彰者について	
所管部課名	学校教育課
内 容	非公開
今後の方針	
	議案第2号 承認
議案第3号 平成29年度 小松市奨学金支給奨学生について	
所管部課名	学校教育課
内 容	非公開
今後の方針	
	議案第3号 承認
<b>【報告事項】</b>	
件 名	ふれあい教室通室状況について
所管部課名	未来の教育課
内 容	・ふれあい教室通室状況については、昨年度に比べ小学校は増加、中学校は減少している。
教育委員からの意見等	
件 名	教育相談について
所管部課名	未来の教育課
内 容	<p>相談件数が増加            学校が相談の仕方、発達のある児童についての相談を、教育センターへするケースが増加した。</p> <p>相談の内訳：学校への訪問件数の増加(臨床心理士を学校に派遣し子供の状況を見る。また臨床心理士による児童の行動が発達に起因するかの見取りをしてもらう。学校は、その結果を踏まえ専門機関につないだり検査を行ったり、指導方法等を保護者と共に相談することが多くなっている。小学校への派遣が増加。発達の課題を理解し、児童にあった指導方法を考えていく学校訪問のケースが多くなっている。発達障害への早期対応が多くなってきた。関係機関と連携した支援会議が増加。保護者と子供をそれぞれに個別面談を行なっている。</p> <p>土曜相談件数            普段相談に來れない家庭を対象とする。            土曜専門相談：小児科医、大学教員(臨床心理・発達障害専門)、臨床心理士により個別の相談</p>

	<p>発達に対する親の理解を深めてもらう          高校生の相談状況          元ふれあい教室の通室生で学校でうまくいかない、どうしても学校に行けないような高校生についての相談。新規は電話相談で対応</p>
<p>教育委員からの意見等</p>	<p>【蘆邊委員】          ①発達障害が主だと思うが、いじめ等の相談もあるのか。          【教育長】          ②いじめと発覚したものもあるのか。          【吉原委員】          ③4～6月の相談件数がかかり多いのはなぜか。          【北村委員】          ④子育てについて、家庭での対応は考えてもらえないのか。学級懇談で対応位置づけもお願いしたい。</p>
<p>回 答</p>	<p>①あります。保護者の了解も得て学校に連絡し早めの対応をしてもらっている。いじめ問題は解決しても学校に行きにくい子供については登校回数を増やせるよう学校と連携し支援している。          ②いじめとまではいかないような軽微なものであっても学校へは、知らせている。          ③最初の出だしはうまく対応できないのではないかと思う。4月は頑張っていたんだけどだんだん辛くなってくるということや、夏休み明けの9月から増えてくる。4・5月でうまく早期対応できると学校への繋がりがスムーズに行く。          ④昨年まで子育て講座を月1回行っていた。今年は市PTA連合会の母親委員会と連携し、子育て講座を2回増やした。また母親委員会の研修として子育てのベースとして、多賀先生に1回目は子育て全般について、2回目は思春期の子ども達に対応する講演してもらった。来年度も市PTA連合会と連携した対応をお願いしている。学校への資料を送付し、時期に合わせて配布をお願いしている。子育ての助言が毎年配布されることにより根付いていくのではと考えている。</p>
<p>件 名</p>	<p>図書館行事等について</p>
<p>所管部課名</p>	<p>図書館</p>
<p>内 容</p>	<p>① こまつ市民読書の日講座          19日にキッズ講座として、もうすぐお雛さまの季節となるので、昨年も好評でしたお雛さまづくりを、昨年は紙皿でつくったが、今年は紙コップで挑戦する。当館の司書が講師を務める。          ② 市史編纂事業          例年2回目の講座は秋に開催していたが、講師の都合により3月に延びての</p>

	<p>開催。石文化の日本遺産認定にちなみ、小松城の石垣に注目し、金沢城の石垣づくりが小松城にどのように反映されているか、また石垣の石材はどこ産出かなど、NHK「ブラタモリ」で金沢城をご案内された木越隆三金沢城調査研究所長が講師を務める。</p> <p>③ 小松文芸第 65 号受賞者決定</p> <p>今年度の小松文芸第 65 号は応募総数 97 人 382 点で、随筆部門の常連者や市立高校の応募が減少したことが、全体数の減少にもつながっているが、小説、短歌、俳句部門では昨年より応募者が増え、初めての投稿者が今回目立っている。来年度は高校、特に学校司書への呼び掛けを活発にしたい。受賞の方では、3年ぶりに森山啓賞の受賞作が2作品あった。ジュニアの小説部門では小学生の応募があり、初めての投稿であったが、素晴らしい作品で奨励賞の受賞となった。小松文芸の表彰式は2月 21 日の午後3時より公会堂で行われる。この時に審査員も同席し、表彰式後、「投稿者の集い」を開催し、審査員を囲んで、部門別に個々に講評、今後の書き方についてのアドバイスを受けることができる。</p> <p>図書館に埋蔵金に関する文書を収蔵しているが、ネット検索等をしたのかNHK 名古屋が番組での放映願を依頼してきた。史料は公開しているが、情報を得た市民が掘り返す懸念もあり、上層部に意見を窺った。放映内容が影響を及ぼすことがないようになら許可してもよいとのことだったため、内容確認したところ、「埋蔵金は出ないだろう。」と一文があり、許可するに至った。撮影は2月10日、放映は3月3日の19時30分から、「金とくスペシャルでクイズ形式で放映される。</p>
<p>教育委員からの意見等</p>	<p>【北村委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業終了後に反省をし、すぐに次回の手立てを考えることは大切なことである。</li> </ul> <p>【蘆邊委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和 30 年代の DVD(小松博覧会など)を各学校に配布してほしい。教材としてぜひ活用してほしい。</li> </ul>
<p>件 名</p>	<p>広域通学モデル事業の実施について</p>
<p>所管部課名</p>	<p>学校教育課</p>
<p>内 容</p>	<p>1. 日 程</p> <p>(1)西尾小学校 学校説明会 ①11/16 ②1/17  面談会 ①1/17 ②1/28  結果通知 ①12月下旬 ②2月上旬</p> <p>(2)松東中学校 学校説明会 ①1/12</p>

	<p>面談会 ①1/28 結果通知 ①2月上旬</p> <p>2. 結果</p> <p>(1)西尾小学校 6名 新1年 2名 2年 1名 3年 1名 5年 1名 6年 1名</p> <p>(2)松東中学校 6名 新1年 5名 3年 1名</p>
今後の方針	・望ましい広域通学モデル事業のあり方を再検討し、充実を図っていく。
教育委員からの意見等	【北村委員】統合を見据え、広域を学校の活性化につなげるという視点で許可基準の見直しを検討してほしい。
件名	平成28年度 森山啓ジュニア文芸賞について
所管部課名	学校教育課
内容	<p>1 受賞者</p> <p>◇生活作文の部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中海小学校 3年 中 桜二郎(なか おうじろう)さん 題名:青いザリガニ</li> <li>・安宅中学校 1年 木下ひより(きのした ひより)さん 題名:目標</li> </ul> <p>◇詩の部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・丸内中学校 2年 嶋多 裕英(しまだ ひろひで)さん 題名:光</li> </ul> <p>◇短歌の部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・蓮代寺小学校 1年 宮岸 慶成(みやぎし けいせい)さん 作品:ざわざわと おしゃべりずきのおこめさん もうすぐかわる ほくほくごはん</li> </ul> <p>◇俳句の部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・串小学校 5年 碓山 華加(いかりやま はるか)さん 作品:とれたての 真っ赤なトマト 太陽だ</li> </ul>

	<p>◇意見文の部 該当なし</p> <p>2 授与式 (1) 日 時 平成29年2月17日(金) 午後4時15分より (2) 場 所 市庁舎 6階 教育長室</p>
今後の方針	・より効果的な授与式のあり方について検討する。
教育委員からの意見等	【北村委員】 森山啓ジュニア文芸賞を広めるため、より多くの方が参加できる授与式のあり方を検討してほしい。
件 名	平成29年度推薦入試出願状況について
所管部課名	市立高校
内 容	定員は昨年度と同様。 普通科は昨年 32 名、今年度 30 名(2名減) 芸術は昨年 23 名、今年度 38 名(15 名増) 合計 13 名の増 出願倍率:昨年は1. 62倍 今年度2. 0倍
教育委員からの意見等	
件 名	サイエンスヒルズこまつ3周年企画について
所管部課名	ひとつものづくり科学館
内 容	<p>I サイエンスヒルズこまつ 3 周年企画について</p> <p>1. プレイメント「3 周年へのプロローグ」</p> <p>①プラネタリウムショー (3/12)</p> <p>②サイエンスショー (3/18)</p> <p>2. 3周年記念企画</p> <p>①式典(3/25)</p> <p>②油井亀美也宇宙飛行士講演(3/25)</p> <p>③油井氏と松本零士氏スペシャル対談 (3/25)</p> <p>④「銀河鉄道999」上映 (3/25)</p> <p>3 3周年関連企画</p> <p>①ロボット展 (3/26)</p> <p>②JAXA 展 (1/14～4/9)</p> <p>II その他</p> <p>「SNOWFLAKE 雪は天からの手紙」 科学館連携上映番組 (1 月～2 月の土・日曜日、祝日)</p>

<p>教育委員からの意見等</p>	<p>【蘆邊委員】 宇宙飛行士の講演は非常に貴重。全ての学校から参加者を募る働きかけをしてほしい。 講演後の記録を各学校へ配布してあげてほしい。</p>
<p>回 答</p>	<p>日程的に難しい時期でもあり、校長会でもお伝えした。また、個人参観のチラシを学校に配布してもらうように依頼した。</p>
<p>件 名</p>	<p>平成29年度当初予算について</p>
<p>所管部課名</p>	<p>教育次長</p>
<p>内 容</p>	<p>平成 29 年度予算の主な事業 当初予算は、経常的予算のみで新規事業等については6月補正予算対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 未来の教育課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来の教育展開費(未来を創る子どもの育成を目指す)</li> <li>・研究研修費(教職員の資質、授業力の向上を図る)</li> <li>・理科教育推進費(理科大好き青少年の育成を目指す)</li> <li>・ICT教育推進費(タブレット型パソコン等を導入し、効果的な授業の推進を図る)</li> </ul> </li> <li>○ 教育研究センター <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談費(不登校・発達障害等の児童生徒が円滑な学校生活に向かうための支援を行なう)</li> </ul> </li> <li>○ 図書館 <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館活動費(読書活動の推進、利用者サービスの充実)</li> </ul> </li> <li>○ 教育庶務課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校改修費(芦城中学校武道場屋根の改修、中海中学校の給水管改修)</li> </ul> </li> <li>○ 学校教育課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業力スキルアップ費(若手教員の人材育成)</li> <li>・授業支援費(学力調査による子ども達の状況把握と、学力向上のための指導の充実)</li> <li>・英語力向上費(ALTの増員)</li> <li>・中学校「イングリッシュ・テーブル」開設費(イングリッシュ・テーブルを3校に開設。)</li> <li>・給食施設充実費(学校給食施設の修繕、機器の整備)</li> <li>・学校給食運営費(学校給食調理等の民間委託)</li> </ul> </li> <li>○ 市立高校 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立高校活性化推進費(特別講師の配置、ICT教育、情報機器を活用した授業の開発)</li> <li>・市立高校改修費(外壁・体育館トイレ改修工事)</li> </ul> </li> <li>○ 青少年育成課 <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブ運営費(市内全小学校校下 37 クラブの運営費)</li> </ul> </li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談費(青少年育成プラザの運営費)</li> <li>・子供歌舞伎勸進帳上演費(第19回全国子供歌舞伎フェスティバル上演)</li> </ul> <p>○ひととのづくり科学館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひととのづくり科学館管理運営費((3Dスタジオ等施設の運営、施設管理)</li> <li>・ひととのづくり科学館魅力アップ費(プログラミングロボットキット、3Dプリンタの導入等)</li> </ul>
教育委員からの意見等	
<b>【その他】</b>	
	<p>次回教育委員会会議の日程について</p> <p>日時:3月2日(木)午前11時30分から</p> <p>場所:小松市役所 6階 教育長室</p>
<b>教育委員からの意見・提言</b>	
北村委員	4～5年先を見据えた教員人事をしてほしい。
野田委員	ほんの些細なことで、子供の人生が変わってしまうことがある。家庭、地域、学校と協力し、子ども達を幸せな道に導いてあげてほしい。今年度相談件数が多いが信頼感があり増えているということはよいことだと思うので、相談があれば洩らすことのないようしっかりケアをしてほしい。
蘆邊委員	先日の新聞に石川吹奏楽コンクールの新人戦で市立高校がグランプリを取った。引き続き県代表で演奏することはすばらしいことである。優良部活動の指導者に市立高校の浅田先生が出ていた。また、西房先生が特別講師として29年度から来られることはすばらしい。市立高校がよい方向に進んでいるように思う。
吉原委員	特になし